

再評価結果(令和8年度事業継続箇所)

担当課:道路局 国道・技術課

担当課長名:西川 昌宏

事業名	地域高規格道路 <small>おおず やわたはま</small> 大洲・八幡浜自動車道 一般国道197号 <small>よるひる</small> 夜昼道路	事業区分	一般国道	事業主体	愛媛県	
起終点	自:愛媛県 <small>おおず ひらの</small> 大洲市平野 至:愛媛県 <small>やわたはま ごう</small> 八幡浜市郷			延長	4.2km	
事業概要						
<p>「大洲・八幡浜自動車道」は、愛媛県大洲市北只から八幡浜市保内町喜木を結ぶ約14kmの高規格道路であり、愛媛県における「3つのミッシングリンク」の1つである。</p> <p>「夜昼道路」は、大洲市平野を起点とし、八幡浜市郷を終点とする延長4.2kmの区間をバイパス方式により2車線の道路を整備するものであり、「大洲・八幡浜自動車道」の一部を構成し、「大洲西道路」「八幡浜道路」「名坂道路」と一体となって四国縦貫・横断自動車道に接続し、広域交通ネットワークを形成するものである。</p> <p>これにより、大規模災害時における緊急輸送道路の確保、円滑な救急医療搬送、地域産業である農林水産業の振興、観光地へのアクセス向上等を図ることが期待される。</p>						
H25年度事業化		都市計画決定なし		H27年度用地着手		
H28年度工事着手						
全体事業費		272億円		事業進捗率		
		約46%		供用済延長		
		— km				
計画交通量		7,700台/日				
費用対効果分析	B/C	EIRR	総費用 (残事業)/(事業全体)		総便益 (残事業)/(事業全体)	
	(事業全体)	(事業全体)	243/1,350億円		287/1,472億円	
	1.1(0.5)	4.4%	(事業費: 238/1,331億円)		(走行時間短縮便益: 239/1,200億円)	
	1.5(0.9) [2%]	(1.5%)	(維持管理費: 1/1.6億円)		(走行経費減少便益: 38/216億円)	
	1.9(1.1) [1%]	(残事業)	(更新費: 4/17億円)		(交通事故減少便益: 10/56億円)	
(残事業)	(残事業)	(事業全体)		(残事業)		
1.2(0.95)	4.9%	交通量	B/C=1.00~1.2(±10%)	交通量	B/C=1.1~1.3(±10%)	
1.8(1.5) [2%]	(3.7%)	事業費	B/C=1.1~1.1(±10%)	事業費	B/C=1.1~1.3(±10%)	
2.2(1.9) [1%]		事業期間	B/C=1.1~1.1(±20%)	事業期間	B/C=1.1~1.3(±20%)	
事業の効果等						
①大規模災害への備え						
<ul style="list-style-type: none"> ・高速道路ネットワークと一体となった広域避難・救援道路を構築することで、大規模災害発生時や万が一の原発事故発生時における「命の道」として、確実かつ迅速な緊急輸送や避難・救援活動を支援する。 ・国道197号とのダブルネットワーク化により、地域防災力の向上が図られる。 						
②四国経由で本州と九州を結ぶ「新たな国土軸」の機能強化						
<ul style="list-style-type: none"> ・八幡浜港と四国8の字ネットワークを高規格道路で連結することで、広域物流・観光ルートとなるフェリー航路を介して四国経由で本州と九州を結ぶ「新たな国土軸」の機能が向上する。 ・「新たな国土軸」の整備により、地場産業の振興や県下全体における交流人口の拡大、広域的大規模災害時におけるネットワークの代替性確保が図られる。 						
③安全・安心の確保						
<ul style="list-style-type: none"> ・並行現道の線形不良区間や老朽化トンネルの回避が可能になり、安全性が向上する。 						
④広域救急医療体制の支援						
<ul style="list-style-type: none"> ・大洲市と八幡浜市とを繋ぐ高規格道路の整備により、八幡浜・大洲圏域の救急医療体制を支援するとともに、管外の三次救急医療機関へのアクセス向上により、地域の安心の向上に大きく貢献する。 						
⑤九州との連携強化による地域活性化						
<ul style="list-style-type: none"> ・高規格道路ネットワークと八幡浜港が直結して人・物の輸送効率が向上することにより、県内企業の九州方面との取引拡大などを支援し、地域の活性化に貢献する。 						
⑥地域間連携による持続可能な地域づくりへの支援						
<ul style="list-style-type: none"> ・大洲・八幡浜間の所要時間の短縮により、商業施設や病院などの相互利用、通勤圏域の拡大による人材確保などが容易となり、八幡浜・大洲圏域内の連携が強化されることで、持続可能な地域づくりが可能となる。 						

関係する地方公共団体等の意見	
・国道197号(大洲・八幡浜・西宇和間)高規格道路建設促進期成同盟会)による事業促進の強い要望がある。	
事業評価監視委員会の意見	
・事業継続を妥当と認める。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	
<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年3月 宇和島道路(津島岩松～宇和島北IC) 開通 ・令和 2年3月 中山スマートIC 開通 ・令和 5年3月 八幡浜道路 開通 ・令和 6年2月 松山外環状道路(余戸南IC～東垣生IC) 開通 ・令和 6年3月 東温スマートIC 開通 ・令和 7年4月 松山自動車道(伊予～内子五十崎) 一部区間4車線化 	
事業の進捗状況、残事業の内容等	
・用地取得率約98%、事業進捗率約46%	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	
・早期の供用を目指し、工事を推進する。	
施設の構造や工法の変更等	
・今後も工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由	
・事業の必要性、重要性は変わらず、費用対効果も確保されているため。	
事業概要図	



※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格に社会的割引率(4%)を用いて基準年の価値に換算し集計したもの。

※B/Cの値は、社会的割引率4%を用いて計算した場合の費用便益分析結果。また、比較のために参考とすべき値として1%及び2%を設定し、それに対応する費用便益分析結果を参考として併記している。(〔 〕内は社会的割引率の値)

(※B/Cの値は、大洲・八幡浜自動車道を対象とした場合、()書きの値は事業化区間を対象にした場合の費用便益分析結果。)